



2023 入会のご案内

大学受験対策

<対象：高1～高3>

 **合格指導会** 

堺東校／岸和田校



SUR 合格指導会とは

高1からの3年間で第一志望の難関大学へ。

SUR合格指導会では、意欲ある高校生に対し、高1からの3年間で第一志望の難関大学へ現役で合格するための体系的な指導を提供します。

授業の中に、合格の手応え。

SUR合格指導会は、中高6年一貫指導で東大・京大を目指す「大学進学塾SUR」の指導経験を踏まえ、難関大入試に直結した授業を高1から展開します。授業の中で、合格への確かな手応えを感じ取っていただきたいと考えています。

指導理念

1. 深い基礎力を養成する

難関大合格に必要な高い応用力は、基礎を深いところまで確立することにより初めて、築き上げることが可能になります。

2. 幹となる論理を指導する

大学受験のために高校生に与えられる情報は洪水状態です。しかし、本当に必要な情報は多くありません。当会では、枝葉ではない、幹となる論理を精選し、それを重点的に指導します。入試のみならず、将来にわたって問題解決に役立つ骨太の学力を養成します。

3. 将来の夢を支援する

有名大学に合格しても、それが将来の夢につながっていなければ、大学受験は成功とは言えません。当会では、一人ひとりが夢を描き、それを実現する受験となるよう、全力で支援します。

国公立大学 計 142 名

東京大学	2 名	京都大学	7 名		
大阪大学	27 名	神戸大学	17 名		
大阪公立大学	26 名	和歌山大学	19 名		
大阪教育大学	7 名	奈良県立医科大学	3 名	奈良女子大学	3 名
徳島大学	3 名	九州大学	3 名	北海道大学	2 名
三重大学	2 名	兵庫県立大学	2 名	和歌山県立医科大学	2 名
岡山大学	2 名	広島大学	2 名	小樽商科大学	1 名
東北大学	1 名	群馬大学	1 名	千葉大学	1 名
お茶の水女子大学	1 名	名古屋大学	1 名	名古屋市立大学	1 名
福井大学	1 名	滋賀大学	1 名	滋賀県立大学	1 名
神戸市看護大学	1 名	山陽小野田市立山口東京理科大学	1 名	福岡教育大学	1 名

私立大学 計 713 名

関西大学	184名	関西学院大学	58名		
同志社大学	69名	立命館大学	19名		
近畿大学	143名	摂南大学	26名	関西外国語大学	23名
龍谷大学	17名	武庫川女子大学	17名	大阪経済大学	15名
大和大学	15名	大阪工業大学	12名	同志社女子大学	11名
大阪医科薬科大学	10名	大阪経済法科大学	8名	早稲田大学	7名
追手門学院大学	7名	桃山学院大学	7名	京都薬科大学	6名
甲南女子大学	6名	法政大学	5名	京都女子大学	5名
明治大学	4名	関西医療大学	4名	四天王寺大学	4名
畿央大学	3名	大阪芸術大学	2名	大阪産業大学	2名
大阪樟蔭女子大学	2名	大阪商業大学	2名	大阪体育大学	2名
神戸女学院大学	2名	青山学院大学	1名	慶應義塾大学	1名
金沢医科大学	1名	京都産業大学	1名	大阪大谷大学	1名
関西医科大学	1名	神戸薬科大学	1名	甲南大学	1名
兵庫医科大学	1名	岡山理科大学	1名	その他の大学	6名

1 プロの専任講師陣

SUR合格指導会では、経験豊富で大学入試を知り尽くしたプロフェッショナルな専任講師陣が責任をもって授業を行います（一部、大手予備校と兼任する講師も在籍）。長年の実践を経て完成された授業を提供します。



2 プロ講師に直接質問できる



疑問はその日に解決することが成績向上につながります。SUR合格指導会では、プロ講師に直接質問することができます。納得できるまで丁寧に対応します。授業日以外での質問も可能です。教科の質問は当然ながら、受験全般に関する質問や相談も歓迎です。

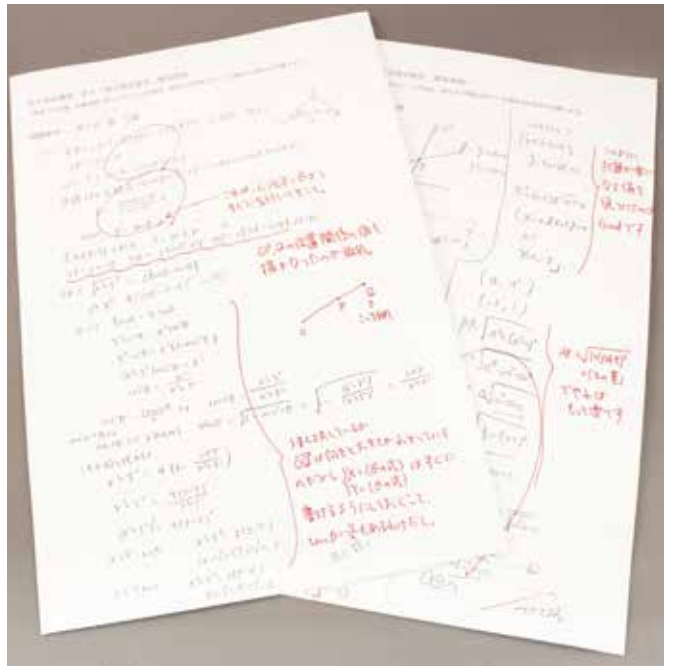
SUR 合格指導会の授業を体験しよう！

SUR合格指導会各校で授業の体験受講が可能です！ぜひ一度体験してください。詳細やお申込みは各校へ！



3 実戦力を鍛え上げる添削指導

国公立2次、そして一部私大入試に必要となるのが、英作文や数学論述に代表される記述式的答案です。これらは一つの問題に対して正解が無限に存在するため、個々の答案に対する専門家による添削指導が欠かせません。SUR合格指導会の高3講座では、担当講師自身が十分な時間をかけて添削指導を行います。



4 高品質な教材群

高い専門知識を持った講師陣が、実践と検証を長年繰り返した結晶としての教材群で指導を行います。

The English Bible

読解の原則 → 構造分析の原則

1. 文の要素(SVO/C)と主語
1. 前置詞句は修飾語(Q)あるいは補語 C になる。どこまでが範囲かを確定して()でくくる。

前置詞+名詞を前置詞句という。前置詞句あるいは補語 C の働きをする。どこからどこまでが前置詞句なのかを確定した上で()でくくる。

- (1) 前置詞+名詞→前置詞句 → 名詞を修飾する(補語)になる。(C=COM)

Jack is a pianist (of great talent). 「Aは名詞」

ジャックは素晴らしい才能を持ったピアニストである。

My little sister is the great healthiest. 「Aは名詞」

妹はとても健康です。

- (2) 前置詞+名詞→前置詞句 → 動詞、準動詞、形容詞、副詞を修飾する。

They got married (on March 6, 2013). 「Aは前置詞」

彼らは2013年3月6日に結婚した。

It began to rain (at 10 o'clock). 「Aは前置詞」

雨が本降りに変わった。

主語のSVを見え易くするために従属節を()でくくる。

主語のSVを見え易くするために従属節を()でくくる。that, if, while, when, because, if等が導く従属節。 ()でくくって修飾語とく。

「Aは前置詞句で修飾する()でくくる。前置詞句のAは前置詞」 ()でくくる。

- (1) We were surprised (at the news) [that she had got divorced].

彼女が離婚したという知らせに驚いた。

- (2) Never put off (till tomorrow) [what you can do today].

今日できることを明日まで延ばすな。

- (3) Mary often has a time [as she works in the kitchen].

マリーは台所で仕事を()たるときよく疲れるという。

読解の原則 → 構造分析の原則

3. 各文の前半は文中で主語か、目的語か、補語か、修飾語にそれぞれ役割を与える。

全ての前置詞句(修飾語)には必ず次のどれかの働きを与える。

- (1) 前置詞の主語句

- (2) 前置詞の目的語句

- (3) 前置詞の補語句

- (4) 前置詞の修飾語句

※ (1)~(4)のいずれでもない場合は次のどちらか。

前置詞句は前置詞(only, once, when, being)を修飾する。

Baseball, his favorite sport, has brought him a lot of joy.

ベースボールは彼にとって多くの喜びをもたらした。

4. and や or は前後の同じカテゴリーの要素をつなぐ

並列関係にある要素をつなぐ。and, or, but, so, etc. 等の関係にある要素が並列されているので、同じカテゴリーの要素をつなぐ。

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃. X₁ and X₂ are X₃.

最新ニュースでリスニング対策



従来の受験勉強にありがちな、努力一辺倒や勘に頼る方法からの脱却を図って編集されたものです。単語の根幹イメージや意味の成立過程、そして英語の論理を体系的にマスターすることができます。

高1から3年間、最新ニュースでリスニング対策を行います。誰もが知っているニュースを素材とし、単語の難易度が初級編、上級編と分かれた音声教材で、ノーマルスピードとスロースピードを交互に聴きながら無理なく段階的に聴く力を身につけます。

VOD欠席フォロー・学習環境

5 VOD 欠席フォローシステム（無料）

講義はビデオで録画されており、欠席した場合はそれを後日視聴することができます（一部の講座を除きます）。画質は板書の添え字まできれに見えるフルHDのため、ライブの場合と遜色ない受講が可能です。



6 集中できる自習室

個別ブース型の自習室を完備しています。また、赤本や参考書類も充実していますので学習環境には最適です。さらに、受講している科目以外の質問も受け付けていますので各自のペースで受験勉強が捗ります。



7 赤本・参考書・入試情報コーナー

赤本（入試過去問）や様々な問題集・参考書を用意しており、自由に使うことが可能です。また、入試情報や大学パンフレットも用意しています。



8 食事・リフレッシュコーナー

食事や休憩ができるリフレッシュコーナーを設置しています。気分転換や友人同士の情報交換に。



9 通塾に便利で安全な校舎

堺東校は駅上ビル内、岸和田校は駅直近のビル内にあります。通塾に便利な校舎で、防犯カメラも設置。快適性と安全性を兼ね備えた学習環境です。

学習相談・進路指導

SUR合格指導会では、大学入試情報の提供や、学習に関する相談、進路に関する相談を行い、合格までサポートいたします。



学習や進路について、じっくりと相談しましょう。



大学入試説明会（生徒対象）や保護者会を実施し、大学入試情報を提供しています。



学習状況や進路について共有するための二者、または三者面談の機会を設けております。

岸和田校 通常期開講講座

高 1

レベル標記の目安

基礎	標準	発展
		T: トップレベル
	H: ハイレベル	
S: スタンダードレベル		

英語 T	高 1 の 1 年間で英文法的全単元の核心がつかめる独自カリキュラムで、京都大、大阪大、国公立大医学部などの最難関大への現役合格に備える授業を行います。実際の入試問題を積極的に扱いながら、難関国公立大の入試英文に対し論理的な読解を行うための基礎を築きます。
数学 T	高 1 から京都大、大阪大、国公立大医学部などの最難関大合格を見据えて学習します。進学校の標準的な指導カリキュラムに基づき、教科書内容をより深く、より体系的に学ぶとともに、早期から応用的な問題も扱うことで、難関大の入試に余裕を持って対応できる力を養成します。
数学 H	高 1 から神戸大、大阪公立大、同志社大の合格を見据えて学習します。進学校の標準的な指導カリキュラムに基づき、教科書内容をより深く、より体系的に学ぶとともに、早期から応用的な問題も扱うことで、難関大の入試に余裕を持って対応できる力を養成します。
現代文・古文 H	この講座では、将来の大学入試を見据えたうえで、現代文・古文それぞれの基礎を一から学習していきます。現代文では、文章を論理的に読み解く読解力の向上を目指し、古文では、古典文法の基本を中心に学習しつつ、古文読解の基礎力を養い、定期テストはもちろん、入試にむけた基礎力を固めていくことを目指します。

高 1 学校準拠コース*

英語 S C 120 分	和泉高校普通科 1 年生の方を対象とした英語コミュニケーション、論理・表現の学校準拠講座です。大学受験に向けて、まずは学校の定期考査や宿題考査を目標としながら、一緒に学習習慣づくりと知識の整理を進めましょう。基礎の確認をしたい方はもちろん、基礎内容に加えてやや発展的な内容の学習、演習をしたいという方にもおすすめの講座です。
数学 S C 120 分	和泉高校普通科 1 年生の方を対象とした数学 I、数学 A の学校準拠講座です。大学受験に向けて、まずは学校の定期考査や宿題考査を目標としながら、一緒に学習習慣づくりと知識の整理を進めましょう。基礎の確認をしたい方はもちろん、基礎内容に加えてやや発展的な内容の学習、演習をしたいという方にもおすすめの講座です。

※当コースの料金等詳細については、「和泉高校（普通科）サポートコース 2023 年度 募集要項」をご覧ください。

高1・高2コース

※授業時間は、特に記載のない限り 100 分/回です。

高2

英語 T	英文読解では、京都大などの高い水準の英文を素材とし、構造分析、下線部和訳、マクロ読解、要約の技術を学びます。また、英作文では、京都大型の長文英訳問題を素材とし、徹底した添削指導を通して確かな知識に基づいた英文の書き方を学びます。
150 分	
英語 H	神戸大、大阪公立大、同志社大の試験で出題される水準の英文を読むのに必要となる英文の構造分析力と英文法に基づいた英文の書き方を学びます。大学受験に向けて、文法及び構文理解を英文読解につなげることが本講座の目標です。
150 分	
英語 S	関関同立大、産近甲龍大受験の試験で出題される水準の英文を読むのに必要となる英文の構造分析力の養成と英文法の基礎の確立及び応用力の養成を行います。大学受験で必要となる英文法及び英語構文の知識を整理し習得していくことが本講座の目標です。
150 分	
数学 T	京都大、大阪大、国公立大医学部の合格を見据えて、数学に関する幅広い知識と精密な思考力を養成するクラスです。12 月期までは高 1 数学に引き続き、各単元を未習を前提として根本から講義し、数学Ⅰ AⅡ Bの内容を網羅します。冬期講習からは文理共通範囲の演習を行う数学Ⅰ AⅡ B－T、および理系対象の数学Ⅲ－Tの 2 クラスを開講し、難関大入試に備えます。
数学 H	神戸大、大阪公立大、同志社大の合格を見据えて学習するクラスです。12 月期までは高 1 数学に引き続き、各単元を未習を前提として根本から講義し、数学Ⅰ AⅡ Bの内容を網羅します。冬期講習からは文理共通範囲の演習を行う数学Ⅰ AⅡ B－H、および理系対象の数学Ⅲ－Hの 2 クラスを開講し、大学入試に備えます。
数学 S	本講座では、進学校の標準的な指導カリキュラムに基づき、数学Ⅱ・Bの重要単元、その重要事項を基本から丁寧に指導します。また成績向上、大学受験突破に向け、何が重要か、どのように学習すればよいか、なども指導します。12 月期までに文理共通範囲の主要単元は網羅し、冬期講習からは入試に備えた数学Ⅰ AⅡ Bの復習を行います。
現代文 H	大学受験に向けて普遍的な読解法の習得を目標とした講座です。共通テスト、二次試験、私立大入試、それぞれの根幹である、客観的な読解法と解答法の習得を目指します。年間を通してさまざまなテーマの評論文を中心に扱い、さらに入試で武器とするために必要な語彙力の強化も図ります。
古文 H	古文読解に必要な文法力・語彙力を身につけることを目標とした講座です。4～12 月で「用言→助動詞→助詞→敬語」を体系的に学び、1～3 月で「さまざまな語の識別、和歌の修辞法」を学ぶことで総合力を高めます。文法のみでの授業ではなく、短文読解を織り交ぜながら「文法をどのように読解に活かすか」を提示します。
物理 H	入試物理に必要な知識を基本的内容からしっかりと指導します。物理は学習方法にコツがあり、それを実践することで得意科目にすることができる科目です。本講座で物理の正しい学習の仕方を身につけ、物理を得点源にしていきましょう。京都大、大阪大、大阪公立大などを志望する方が対象です。
化学 H	高校化学について、高 2 の 1 年間でほぼすべての単元を終了する講座です。初学者が標準レベルの入試問題をコンスタントに解けるようになることを目標とします。暗記型ではなく、化学現象を理論的に考える方法とその問題への応用の方法を講義します。京都大、大阪大、大阪公立大などを志望する方が対象です。
冬期講習より開講予定 日本史	【冬期：原始時代、1～3 月：奈良～鎌倉時代】勉強時間の限られた現役生が、入試で高得点を確保するためには丸暗記では限界があります。効率よく高得点を確保するための情報が凝縮された本講座の通史で、歴史の流れ（因果関係）を明確にして歴史を理解し、志望校に最適な問題を使った演習で効率よく成績向上を図りましょう。
冬期講習より開講予定 世界史	皆さんの苦手な正誤問題。例えば、「スペインの無敵艦隊は北イタリア諸都市の海軍に破れた」などです。こういう問題は、関連事項を知らなければ解けません。正解を導くためには物語を知っておく必要があります。この講座ではこの物語に重点を置き歴史の流れを語り尽くしていきます。世界史は分量が大変多いので早めに始めておくことをお勧めします。

岸和田校 通常期開講講座

高3

基礎	標準	発展
		T: トップレベル
	H: ハイレベル	
S: スタンダードレベル		

レベル標記の目安

英語 T	150 分	英文読解では、高い水準の英文を素材とし、構造分析、下線部和訳、マクロ的読解の技術を身につけた上で、様々なテーマと問題形式に対応できる読解力を養成します。英作文では京都市大や大阪大外国語学部の長文英訳問題を素材とし、徹底した添削指導を通して確かな知識に基づいた英文の書き方を学びます。
英語 H (読解編)		神戸大、大阪公立大、同志社大などの難関大志望の方対象の英文読解の講座です。国公立大で好んで出題される抽象度の高い英文を読む技術である構造分析とパラグラフリーディングなどを学び、国公立2次試験に対応した記述形式の総合問題演習を行います。
英語 S (読解編)		英文の構造分析を文法単元別に整理した上で、パラグラフリーディングなどの英文読解の技術を学び、選択式を中心とした様々な形式の問題を演習します。英文読解の基礎力の確立から応用力の養成を目標とする講座です。S1とS2の2クラスがあり、レベルはS1>S2です。
英語 (英作文編)	50 分	神戸大、大阪公立大、同志社大などの難関大志望の方対象の英作文の講座です。答案の添削指導を通じて、文法単元やテーマ別に確かな知識に基づいた英文の書き方を指導します。 ※ LIVE 授業 + 添削指導の講座のため単位数は2単位となります。
英語 (英文法編)		単元別に英文法知識を総復習しながら、択一問題、正誤問題、整序問題などの問題形式に応じた解き方を指導します。単元別の英文法知識の確認を行った後は、入試水準の英文法問題の総合演習を通じて応用力を鍛えます。
夏期講習より開講予定 英語リスニング	50 分	共通テストでは配点が高まり、かつ高度な問題が出題されるリスニング。対策がしづらいと思われるがちですが、正しい勉強法を実践すれば、得点源にすることは可能です。「聴き取れない」という不安を感じている人は、本講座でコツを学んで、大学受験合格につなげていきましょう！
数学 I A II B - T		京都大、大阪大、国公立大医学科の入試で必要となる発想力、論理力、構想力、答案作成力および制限時間内に実力を発揮できるようにするための問題選択、難易度チェックといった実戦力の養成を最重点において指導する方針で講義を進めます。
数学 I A II B - H		数学 I A II B の内容から、入試において得点を取るためのテクニックを身につける講座です。入試頻出問題を広く扱い、基礎知識の整理だけでなく入試問題に対応する力や得点を取るための解答の書き方などを学びます。文系・理系に共通の講座です。
数学 I A II B - S		数学 I A II B の学習内容を段階的に繰り返すことで、知識を整理し典型問題への対応速度を高めます。大学受験において共通テストでのみ数学が必要な方も、7月期までは本講座を受講し数学 I A II B の基礎知識を整理してください。文系・理系に共通の講座です。
数学 III - T		理系の受験で必須の数学 III の内容について学習します。夏期講習以降は、難関大の入試で必要となる発想力、論理力、構想力、答案作成力および制限時間内に実力を発揮できるようになるための問題選択、難易度チェックといった実戦力の養成を最重点において指導する方針で講義を進めます。
数学 III - H		理系の受験で必須の数学 III の内容について基本事項から解説します。7月期までに数学 III の内容を一通り終わらせ、夏期講習以降は受験に向けての問題演習を行います。本講座で現役生の弱点である数学 III を武器に変え、現役合格をより確かなものとしてください。
数学 III 速習 S		数学 III の最重要単元である微分法、積分法を中心に、数学 III の基本事項を夏までに網羅し、8月期より入試問題を扱います。理系数学において出題の5割近くは数学 III 内容であるため、現役生の皆さんが効率良く合格点を取るためには数学 III での得点力増強が不可欠です。本講座を効率の良い学習の一助としてください。
看護医療系数学 I A		数学 I A のみが出題範囲となる看護医療系大学への合格を目指す講座です。前半では数学 I A の基礎を総整理するとともに、典型的な入試問題の解法を学びます。後半では、看護医療系学部の入試頻出問題を広く扱い、実戦的な演習を通して入試の得点力を高めます。
夏期講習より開講予定 共通テスト数学 I A II B		共通テストの数学で高得点を狙うために必要な実戦力を養成します。空欄補充という特徴的な出題方式で得点するための取り組み方や、共通テスト本番を想定した問題を用いた演習を行うことで、限られた時間内でいかに得点するかを指導します。

高3コース

※授業時間は、特に記載のない限り 100 分/回です。

現代文TH	この講座では、京大、阪大をはじめとする難関国公立大・難関私立大の合格を目標に、【本文の要点を客観的に把握する読解力】【設問を論理的に分析し応答する解答力】を学習します。春期・4月期～7月期では、読解法・解答法の原理を学習し、夏期以降、それらの応用力の完成を目指します。
現代文S	この講座では、関関同立大や産近甲龍大の合格を目標に、現代文の普遍的な読解法や、論理的な解答法を基礎から学習します。春期・4月期～7月期では、文章の種類に応じた読解法と、基本的な解答法の基礎を学習し、夏期以降、それらを活用していく実戦力の完成を目指します。
共通テスト現代文	この講座では、センター試験を踏襲しつつ、より難化している共通テストでの高得点を目標とします。センター試験・共通テストの過去問を中心に扱いながら、春期・4月期～7月期では普遍的な読解法・解答法を基礎から学習し、夏期以降、共通テストを念頭に置いた対策を行い、実戦力の完成を目指します。
古文TH	この講座では、国公立大・難関私立大の合格を目標に、古文の読解や解答の方略を実践的に学んでいきます。春期・4月期～7月期では文法の運用力を向上させつつ、読解力の向上を目指した授業を行い、夏期以降、それらを活用していく実戦力の完成を目指します。
古文S	この講座では、関関同立大や産近甲龍大の合格を目標に、文法力・語彙力、そしてそれらを踏まえた読解力の向上を目指します。春期・4月期～7月期では、文法・読解を基本から学習し、基礎力の向上を行い、夏期以降、それらを活用する実戦力の向上を目指します。
共通テスト古文・漢文	この講座では、センター試験を踏襲しつつ、より難化している共通テストでの高得点を目標とします。センター試験・共通テストの過去問を中心に扱いながら、春期・4月期～7月期では古文・漢文の読解について基礎から学習し、夏期以降、共通テストに特化した対策を行い、実戦力の完成を目指します。
物理T	最難関大の入試攻略を目標とし、頻出問題から応用問題まで幅広いレベルの問題を扱うことで、基本内容を確実にものにするとともに複雑な物理状況を読み解く力をつけるクラスです。物理の基本的思考力や応用問題に対する解析能力を育成していきます。
物理H	原理や定理の講義を行ったあとに、それらを扱う問題を解くことで実践的に物理の公式や原理を習得していくクラスです。入試物理には欠かせないポイントである、1つ1つの原理や定理を確実に理解し、使いこなす方法を学びます。
化学T	最難関大の入試では、これまで学習してきた典型問題がそのままの形で出題されることはあまりなく、これまで得た知識をどのように問題に応用させて考えることができるかを問う問題が多いのが現状です。この講座では、化学を暗記科目としてではなく、応用できる理論の習得を最重点において講義・演習を進めます。
化学H	神戸大、大阪公立大や関関同立大などの難関大理系志望を対象に、1年間で高校化学の全体を講義・演習する講座です。既習を前提とした指導を行い、入試標準レベルから入試発展レベルの問題まで解けるようになることを目標とします。
入試生物	生物を暗記科目と考えて、一問一答的に用語を丸暗記しても高得点は取れません。大切なことは、教科書レベルの基礎知識を正確に深く理解することです。そうすることで各分野の内容が繋がって応用力もつきます。授業では「板書」にもこだわっています。しっかりとノートに書きとめて、理解を深めるために役立ててください。
日本史	【4～7月:戦国期～江戸時代、夏期:明治時代、8～12月:明治時代後期～現代】勉強時間の限られた現役生が、入試で高得点を確保するためには丸暗記では限界があります。効率よく高得点を確保するための情報が凝縮された本講座の通史で、歴史の流れ（因果関係）を明確にして歴史を理解し、志望校に最適な問題を使った演習で効率よく成績向上を図りましょう。
私立大世界史	皆さんの苦手な正誤問題。例えば、「スペインの無敵艦隊は北イタリア諸都市の海軍に破れた」などです。こういう問題は、関連事項を知らなければ解けません。正解を導くためには物語を知っておく必要があります。この講座ではこの物語に重点を置き歴史の流れを語り尽くしていきます。
夏期講習より開講予定 共通テスト地理	地理は自然現象を理解し、論理的に考える科目です。暗記一辺倒では通用しません。本講座では地理にかかわる主要統計に表れる各種数値の裏に隠された理由、相互に関連しあっている事実を解説し、記憶に残り、かつ応用ができる正確な知識を提供します。
入試政治経済	公民科目は暗記ではなく理解する科目です。そのような制度が必要となった理由・歴史的背景が必ずあります。その背景を理解することで飛躍的に点数が上がります。本講座では、暗記すべきところは暗記する、理解すべきところは理解する、これを明確に分けて講義しています。公民を得点源にできるよう、復習を徹底してください。

1 年間授業予定

通常期 授業日程

4 月期	4 月 8 日 (土) ~ 4 月 28 日 (金)	10 月期	10 月 6 日 (金) ~ 10 月 26 日 (木)
5 月期	5 月 6 日 (土) ~ 5 月 26 日 (金)	11 月期	10 月 27 日 (金) ~ 11 月 16 日 (木)
6 月期	5 月 27 日 (土) ~ 6 月 16 日 (金)	12 月期	11 月 17 日 (金) ~ 12 月 7 日 (木)
7 月期	6 月 17 日 (土) ~ 7 月 7 日 (金)	1 月期	1 月 9 日 (火) ~ 1 月 29 日 (月)
8 月期	8 月 25 日 (金) ~ 9 月 14 日 (木)	2 月期	1 月 30 日 (火) ~ 2 月 19 日 (月)
9 月期	9 月 15 日 (金) ~ 10 月 5 日 (木)	3 月期	2 月 20 日 (火) ~ 3 月 11 日 (月)

- 通常期の授業は「週 1 回×3 週=1 月期」です。
- 高 3 の通常期は 12 月期までとなります。1 月、2 月には別途直前講習を実施します。
- 上記期間中は祝日でも授業があります。

季節講習等 授業日程

春期講習	3 月 15 日 (水) ~ 4 月 7 日 (金)	冬期講習	12 月 11 日 (月) ~ 1 月 7 日 (日)
夏期講習	7 月 12 日 (水) ~ 8 月 23 日 (水)	高 3 直前講習	1 月 8 日 (月) ~ 2 月 23 日 (金)

- 春期・夏期・冬期講習は、上記期間内でターム制(連続する4日間=1ターム)です。
- 季節講習、高 3 直前講習の開講講座や時間割、受講料等については、別途ご案内させていただきます。

2 授業料等

ご納入金

初月	=	入会金	+	月額授業料 (入会月分)	+	指導関連費 (年間分)
翌月以降	=	月額授業料				

授業料等の納入について

- 毎月の費用は、ご指定の口座から自動引落でご納入いただくことになっております。
- 「預金口座振替届出書」は記入見本をご参照のうえ、記入・捺印もれのないようにお願いいたします。
- ご兄弟姉妹で入会される場合も「預金口座振替届出書」は、お一人様につき一部必要です。
- 会員費用は毎月 8 日(金融機関が休業日の場合、翌営業日)にご指定口座より自動引落されます。
(口座振替のお通帳摘要欄につきまちは、当会の社名「ウィザス」での表示になります。)
- 自動引落開始までは、手続き後約 2 ヶ月ほどかかります。それまでの費用につきましては、本部より郵送されますお振込用紙にて、コンビニエンスストアまたは郵便局窓口よりお振込ください。
- 引落日までに、本部より郵送致します「請求ハガキ」の内容をご確認ください。なお、「請求ハガキ」は原則、お引落金額に差異が生じた月度のみのご案内とさせていただきます。毎月のご案内が必要な場合は、校舎までお申し出ください。

入会金

16,500 円 (税込)

- ◎現会員の方からのご紹介 11,000 円 (税込)
- ◎ウィザスグループの元会員 無料
- ◎会員・元会員のお子様や兄弟姉妹 無料

裏面に続きます。

通常期 月額授業料

単位数	月額（税込）	単位数	月額（税込）
1 単位	7,000 円	7 単位	41,000 円
2 単位	13,000 円	8 単位	46,000 円
3 単位	19,000 円	9 単位	51,000 円
4 単位	25,000 円	10 単位	55,000 円
5 単位	31,000 円	以降 1 単位ごとに	+3,500 円
6 単位	36,000 円		

- 1 週間あたり 50 分の講座を 1 つ受講することを「1 単位」とし、受講する講座の単位数を合計します。

（例 1）100 分／週の授業の 1 講座を受講→2 単位

（例 2）100 分／週の授業と 150 分／週の授業の 2 講座を受講→5 単位

ただし、映像講座や添削指導を伴う一部の講座では異なります。

- 月額授業料は、年間授業予定にもとづき各月期（＝3 週）の授業期間に対応しています。

- 高 1・高 2 講座にはお得な受講パックをご用意しております。以下をご参照ください。

【高 1 英数国パック】 4 月期から 3 月期まで

英語、数学、国語のうち 2 講座受講の場合、3 講座目を無料で受講していただけます。（合計 4 単位）

【高 2 現代文・古文／物理・化学スタートパック】 4 月期から 12 月期まで

「現代文、古文の 2 講座」および「物理、化学の 2 講座」は、それぞれ合計 4 単位のところを 2 単位とさせていただきます。

指導関連費

指導関連費には、教材費の他、施設維持費、各種情報誌発行費などの費用が含まれています。4 月期から翌年 3 月期までの 12 ヶ月分（高 3 は 4 月期から 12 月期までの 9 ヶ月分）を、初月にご請求させていただきます。

	年額（税込）
高 1・2	39,600 円
高 3	29,700 円

- 高 3 は受験校により受講期間が異なりますので、1 月期、2 月期分は別途ご案内させていただきます。

- 指導関連費は受講単位数に関係なく定額です。

- 5 月以降のご入会の場合、受講される期間に応じて減額され、初月授業料と同時に年間分をご請求させていただきます。

③ その他のご案内

●VOD欠席フォローシステム(無料)について

すべての授業をビデオで録画しています（一部、著作権の関係で録画できない授業もあります）。欠席・遅刻された場合は、次回授業までに視聴してください。視聴料は無料です。

【免責事項】落雷による停電や機器の故障等により、録画エラーが発生することがあります。この録画について、当会では授業と同様の保証は行っておりません。録画エラーが発生した授業に欠席された場合は、授業ノートのコピーの配付で対応させていただきます。録画ができなかったこと等による受講料の返金はいたしかねますので、何卒ご了承ください。

●台風等による休校について

受講している校舎エリアにおいて、授業開始 2 時間前の時点で暴風警報・特別警報（全ての種類）のいずれかが発令されている場合は、臨時休校といたします。また、授業開始直前や授業中に発令された場合も、臨時休校といたします。なお、災害（大雨、地震など）や交通機関の大規模運転見合わせ等でも、状況を考慮して臨時休校とする場合があります。授業が休講となった場合は、振替授業を後日実施いたします。

●受講等変更の取り扱いについて

受講コース、受講講座の変更は「月期」単位です。「月期」の途中から変更することは原則できません。各種お申し出は前月 10 日までに必ず受講校までお願いいたします。変更はすべて 1 ヶ月単位です。変更開始「月期」の前月 10 日までにお申し出いただいた場合は、次の口座振替より変更後の授業料をお引落させていただきます。当月期の初回授業が経過して以降のコース変更・科目数の減少や退会については、次月のお取り扱いとなります。また、授業やテストの欠席による費用の減額措置は行いません。

●退会・卒業による指導関連費の返金制度について

受講コース・科目により指導関連費をご請求させていただいている場合は、退会・卒業される月により一部をご返金させていただきます。（休会は除く）